

## 27PE-pm061

理札氏薬物学(第三卷)にみる薬物

○小松 直登<sup>3</sup>, 木村 壮太郎<sup>2</sup>, 澤田 彩佳<sup>4</sup>, 森田 祐基<sup>5</sup>, 林 優樹<sup>7</sup>, 西野 ゆり<sup>6</sup>, 菰田 綾佳<sup>2</sup>, 西野 正雄<sup>7</sup>, 宮本 如奈<sup>1</sup>, 高倉 弘士<sup>9</sup>, 畠山 有理<sup>8</sup>(<sup>1</sup>同志社大学(文), <sup>2</sup>府立藤井寺高校, <sup>3</sup>府立東住吉高校, <sup>4</sup>府立西浦高校, <sup>5</sup>科学技術学園高校, <sup>6</sup>府立長野高校, <sup>7</sup>府立富田林高校, <sup>8</sup>長崎大学(薬), <sup>9</sup>立命館大学大学院(社))

「はじめに」・・・明治五年に刊行された理札氏薬物学は、アメリカの戒施理札著、備後福山の小林義直訳の一五冊一七巻の書物である。第三巻全文を解説し紹介する。

「内容」・・・理札氏薬物学は、一六巻で構成されている。漢字とカタカナ、時にカタカナを付けた英語により表記されている。巻三巻は強壯薬を扱い、この薬は勢力を増し、運営を活発にし、過剰の興奮、抑圧衰耗がない。衝動薬とは効果が徐々に続く点異なる。内容は「強壯薬」肝油、「植物強壯薬」カツシア(カツシア浸、チンキ、エキス、シマルパ)、ゲンチアナ(複方ゲンチアナ浸、複方チンキ、エキス、流動エキス)、コロombo(コロombo浸、チンキ)、アメリカコロombo、オウレン、アメリカセントリー、「特効苦味薬」キナ皮(蒼白、黄色、赤色キナ、キニーネ、シンコニア、キニジア、シンコニジア、キナ浸、キナ煎、チンキ、複方チンキ、エキス、流動エキス、硫酸キニーネ、吉草酸キニーネ、キノイジア、硫酸シンコニア)、コルニユスフロリダ(コリュニユスフロリダ煎、楊皮)、野櫻皮(野櫻皮浸、野櫻皮糖煉、流動エキス)コロombo等であり、特効苦味薬は、強壯中、別に効力をもつもので、一種の植物成分があり苦味薬の作用を消変するとあり、この種の薬は間歇的な熱や他の定期諸病特に泥沼卑湿の汚気が原因ものに多少の特異的な効果を持ち、そのため定期病薬という。

「考察」性能及び用法の項目で、緩性の強壯健胃薬。収斂性、苦味はなく、概ね胃に適するため、消食不良、疾病の回復期、特に胃腸の衰弱に効き、又、交感嘔吐特に妊娠が原因のものに良く効くとあるなど、日本には存在していなかった多くの、強い作用の薬物が紹介されている。